

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月12日
【四半期会計期間】	第28期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社プラザクリエイト
【英訳名】	PLAZA CREATE CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大島 康 広
【本店の所在の場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号
【電話番号】	03（3532）8800（代）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大橋 正 信
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号
【電話番号】	03（3532）8800（代）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大橋 正 信
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第2四半期 連結累計期間	第28期 第2四半期 連結累計期間	第27期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	8,218,849	7,905,989	20,137,564
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	312,148	438,450	502,556
当期純利益又は四半期純損失 ( ) (千円)	313,948	452,233	309,099
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	296,410	431,723	337,345
純資産額 (千円)	2,599,086	3,167,421	3,714,443
総資産額 (千円)	9,757,138	13,153,016	11,574,118
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	27.35	32.69	26.49
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	26.6	24.1	32.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	178,064	219,638	646,685
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	32,183	399,713	644,936
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	22,585	2,712,892	189,370
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,701,760	4,220,285	2,125,725

回次	第27期 第2四半期 連結会計期間	第28期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ( ) (円)	15.38	16.99

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第27期第2四半期連結累計期間及び第28期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第27期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 当社は平成26年2月7日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成26年4月1日付けで株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありませんが、従来「イメージング事業」としていた報告セグメントの名称を第1四半期連結会計期間より「プリント事業」へ変更しております。

また、当社の連結子会社である株式会社プラザクリエイトモバイリング及び株式会社プラザハートは、平成26年4月1日に株式会社プラザクリエイトストアーズを承継会社とする吸収分割を行い、平成26年7月1日に分割後の株式会社プラザクリエイトモバイリング及び株式会社プラザハート並びに当社の連結子会社である株式会社Q l i xは、当社と吸収合併いたしました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは、業務の効率化を図ることを主な目的として、平成26年4月1日付けで、株式会社プラザクリエイトモバイルリング及び株式会社プラザハートは、株式会社プラザクリエイトストアーズを承継会社とする吸収分割の方法で事業を承継し、さらに、平成26年7月1日付けで、分割後の株式会社プラザクリエイトモバイルリング及び株式会社プラザハート並びに株式会社Q l i xは、当社と吸収合併の方法で子会社の事業再編を実施しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、プリント事業において、「フォト&モア」への取り組みや「なんでもダビングサービス」の受付体制の強化などにより、直営店の既存店売上高が前年同期比100%を超えるなど売上高は堅調に推移いたしました。一方、モバイル事業においては消費税率引上げ後、駆け込み需要の反動により売上高の減少による影響がありましたが、黒字体質は定着し収益貢献を担う事業へと成長しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、79億05百万円（前年同期比3.8%減）となりました。利益面においては、なんでもダビングサービスの受付体制の強化などの再構築費用及び販促活動費用、当社とビスタプリント社との資本業務提携の一環として、当社グループでのビスタプリント製品の取り扱い準備費用及び新たなコンセプトの店舗開発による先行費用などにより営業損失4億13百万円（前年同期：営業損失3億25百万円）、経常損失4億38百万円（前年同期：経常損失3億12百万円）、四半期純損失4億52百万円（前年同期：四半期純損失3億13百万円）となりました。

セグメント別では、プリント事業は、売上高40億98百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント損益は4億98百万円の損失（前年同期：2億94百万円の損失）となりました。

モバイル事業は、売上高37億28百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益76百万円（前年同期比329.7%増）となりました。

その他の事業は、売上高79百万円（前年同期比67.7%減）、セグメント損益は16百万円の損失（前年同期：35百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は131億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億78百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が20億94百万円増加し、受取手形及び売掛金が7億34百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は99億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億25百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2億99百万円減少、未払金の減少などにより流動負債その他が3億61百万円減少し、短期借入金及び長期借入金がそれぞれ24億47百万円増加、5億7百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は31億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億47百万円の減少となりました。主な要因は、配当金の支払額1億15百万円、四半期純損失4億52百万円などにより利益剰余金が5億67百万円減少したことなどによるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の32.1%から24.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ20億94百万円増加し、42億20百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が41百万円増加し2億19百万円の支出（前年同期比23.3%増）となりました。主な要因は、売上債権の増減による収入の増加が5億54百万円となったものの、税金等調整前四半期純損失が1億26百万円増加し、仕入債務の増減による支出の増加が1億69百万円、未払金の減少などにより営業活動によるキャッシュ・フローその他の支出の増加2億72百万円などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が3億67百万円増加し3億99百万円の支出（前年同期32百万の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の増加1億46百万円、投資有価証券の売却による収入の減少1億68百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が27億35百万円増加し27億12百万円の収入（前年同期22百万の支出）となりました。主な要因は、短期借入金の増減による収入の増加24億15百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動および主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変動はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	41,508,774
計	41,508,774

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,836,258	13,836,258	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は、100株 であります。
計	13,836,258	13,836,258	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	13,836,258	-	100,000	-	265,346

(6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)中部写真	東京都目黒区三田1-4-3	5,606	40.51
Vistaprint Distribution B.V. (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	Hudsonweg 8, 5928 LW Venlo, The Netherlands (東京都千代田区丸の内2-7-1)	2,400	17.34
富士フイルム(株)	東京都港区西麻布2-26-30	2,259	16.32
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	東京都千代田区大手町1-1-5 (東京都中央区晴海1-8-12)	571	4.12
資産管理サービス信託銀行(株) (証券投資信託口)	東京都中央区晴海1-8-12	453	3.27
日本トラスティサービス信託銀行(株)信託口	東京都中央区晴海1-8-11	239	1.72
大島 康広	東京都目黒区	183	1.32
プラザクリエイト従業員持株会	東京都中央区晴海1-8-10	135	0.97
(株)浅沼商会	東京都中央区日本橋1-2-8	81	0.58
松田産業(株)	東京都新宿区西新宿1-26-2	80	0.58
計	-	12,009	86.79

- (注) 1. 大島康広氏の所有株式数は、役員持株会を通じて所有している持分を含めた実質所有株式数を記載しております。
2. 資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、453千株であります。日本トラスティサービス信託銀行株式会社の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、239千株であります。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500	-	-
完全議決権株式(その他) (注1)	普通株式 13,832,600	138,326	1 単元(100株)未満の株式
単元未満株式(注2)	普通株式 3,158	-	-
発行済株式総数	13,836,258	-	-
総株主の議決権	-	138,326	-

(注)1. 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義が600株(議決権の数6個)含まれておりません。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有自己株式1株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)プラザクリエイト	東京都中央区晴海一丁目8番10号	500	-	500	0.00
計	-	500	-	500	0.00

(注)上記自己保有株式数には、単元未満株式1株は含まれておりません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,125,725	4,220,285
受取手形及び売掛金	1,875,092	1,140,988
商品及び製品	1,185,640	1,296,744
原材料及び貯蔵品	163,900	167,732
その他	664,841	646,102
貸倒引当金	357	357
流動資産合計	6,014,842	7,471,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,252,382	2,218,650
減価償却累計額	1,562,690	1,527,987
建物及び構築物(純額)	689,691	690,662
機械装置及び運搬具	4,486,236	4,063,393
減価償却累計額	4,300,475	3,895,181
機械装置及び運搬具(純額)	185,760	168,212
土地	1,364,215	1,364,215
その他	1,612,854	1,507,312
減価償却累計額	1,290,202	1,101,180
その他(純額)	322,651	406,132
有形固定資産合計	2,562,319	2,629,222
無形固定資産		
その他	320,340	352,439
無形固定資産合計	320,340	352,439
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,822,857	1,851,357
その他	851,960	847,948
貸倒引当金	13,839	12,731
投資その他の資産合計	2,660,978	2,686,575
固定資産合計	5,543,638	5,668,237
繰延資産		
社債発行費	15,638	13,282
繰延資産合計	15,638	13,282
資産合計	11,574,118	13,153,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,457,338	1,158,228
短期借入金	1,644,484	4,092,228
1年内償還予定の社債	210,000	210,000
未払法人税等	23,780	11,108
賞与引当金	87,858	86,394
その他	1,169,256	808,108
流動負債合計	4,592,717	6,366,068
固定負債		
社債	530,000	425,000
長期借入金	2,078,217	2,585,722
退職給付に係る負債	134,806	119,758
長期預り保証金	315,443	293,694
その他	208,490	195,352
固定負債合計	3,266,957	3,619,527
負債合計	7,859,675	9,985,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,187,511	1,187,511
利益剰余金	2,396,135	1,828,603
自己株式	99	99
株主資本合計	3,683,547	3,116,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,895	51,405
その他の包括利益累計額合計	30,895	51,405
純資産合計	3,714,443	3,167,421
負債純資産合計	11,574,118	13,153,016

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
売上高	8,218,849	7,905,989
売上原価	4,920,296	4,752,695
売上総利益	3,298,553	3,153,294
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	449,918	316,438
給料手当及び賞与	686,615	673,188
賞与引当金繰入額	79,913	84,807
雑給	638,703	656,183
賃借料	595,891	595,667
その他	1,173,219	1,240,518
販売費及び一般管理費合計	3,624,262	3,566,804
営業損失 ( )	325,708	413,510
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,276	2,303
協賛金収入	3,957	13,276
その他	48,455	36,911
営業外収益合計	55,688	52,491
営業外費用		
支払利息	38,457	22,852
持分法による投資損失	-	47,115
その他	3,670	7,463
営業外費用合計	42,128	77,431
経常損失 ( )	312,148	438,450
特別利益		
固定資産売却益	18,701	14,697
投資有価証券売却益	31,500	-
特別利益合計	50,201	14,697
特別損失		
減損損失	42,585	12,637
店舗閉鎖損失	8,061	5,346
投資有価証券評価損	2,168	-
特別損失合計	52,814	17,984
税金等調整前四半期純損失 ( )	314,760	441,738
法人税、住民税及び事業税	13,576	11,232
法人税等調整額	14,389	736
法人税等合計	812	10,495
少数株主損益調整前四半期純損失 ( )	313,948	452,233
四半期純損失 ( )	313,948	452,233

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	313,948	452,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,537	20,510
その他の包括利益合計	17,537	20,510
四半期包括利益	296,410	431,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,410	431,723
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	314,760	441,738
減価償却費	238,647	188,408
減損損失	42,585	12,637
のれん償却額	549	549
貸倒引当金の増減額( は減少)	1,396	1,108
退職給付引当金の増減額( は減少)	9,842	-
退職給付に係る負債の増減額( は減少)	-	15,048
受取利息及び受取配当金	3,276	2,303
支払利息	38,457	22,852
持分法による投資損益( は益)	-	47,115
固定資産売却損益( は益)	18,701	14,697
投資有価証券売却及び評価損益( は益)	29,331	-
売上債権の増減額( は増加)	181,042	735,483
たな卸資産の増減額( は増加)	93,102	114,936
仕入債務の増減額( は減少)	129,494	299,110
その他	20,488	293,471
小計	119,113	175,364
利息及び配当金の受取額	3,270	2,290
利息の支払額	37,439	22,659
法人税等の支払額	24,781	23,904
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,064	219,638
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額( は増加)	1,000	-
有形固定資産の取得による支出	190,746	336,771
有形固定資産の売却による収入	39,225	38,544
無形固定資産の取得による支出	78,621	48,897
投資有価証券の売却による収入	168,468	-
敷金及び保証金の回収による収入	100,181	65,136
その他	71,691	117,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,183	399,713
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	198,000	2,217,200
長期借入れによる収入	1,220,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	1,196,017	661,951
社債の発行による収入	296,225	-
社債の償還による支出	50,000	105,000
自己株式の取得による支出	23,122	-
配当金の支払額	38,346	115,017
リース債務の返済による支出	23,753	22,338
その他	9,571	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,585	2,712,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	522	1,096
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	232,310	2,094,636
現金及び現金同等物の期首残高	1,934,071	2,125,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,701,760	4,220,285

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社フォトネットは清算したため、連結の範囲から除外しております。また、株式会社プラザクリエイトモバイリング、株式会社プラザハート及び株式会社Q l i xは、当社と吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社グループでは、第3四半期連結会計期間において、主として年賀ポストカード等のプリント製品の需要が集中して発生するため、第3四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金	2,001,760千円	4,220,285千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	300,000	-
現金及び現金同等物	1,701,760	4,220,285

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	38,619	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において、平成25年6月27日開催の第26回定時株主総会に、資本金の額の減少について付議することを決議し、同定時株主総会にて承認可決され、平成25年7月30日付でその効力が発生しております。これにより資本金が917,880千円減少し、その他資本剰余金が同額増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	115,297	25.00	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成26年6月27日定時株主総会決議については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,982,143	3,989,363	7,971,506	247,342	8,218,849	-	8,218,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,740	-	23,740	-	23,740	23,740	-
計	4,005,883	3,989,363	7,995,247	247,342	8,242,590	23,740	8,218,849
セグメント利益又は損失 ( )	294,969	17,707	277,262	35,252	312,514	366	312,148

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の経常損失( )と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において42,545千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プリント	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,098,013	3,728,170	7,826,183	79,806	7,905,989	-	7,905,989
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,385	-	25,385	-	25,385	25,385	-
計	4,123,399	3,728,170	7,851,569	79,806	7,931,375	25,385	7,905,989
セグメント利益又は損失 ( )	498,129	76,088	422,040	16,900	438,941	490	438,450

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の経常損失( )と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において4,068千円、「モバイル事業」において5,516千円であります。

(金融商品関係)  
著しい変動がないため、記載しておりません。

(有価証券関係)  
著しい変動がないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)  
該当事項はありません。

(企業結合等関係)  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)  
1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額(円)	27.35	32.69
(算定上の基礎)		
四半期純損失(千円)	313,948	452,233
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	313,948	452,233
普通株式の期中平均株式数(株)	11,479,232	13,835,757

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は平成26年2月7日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成26年4月1日付けで普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純損失を算定しております。

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。

2【その他】  
該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月7日

株式会社ブラザクリエイト  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 津 田 良 洋

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 三 井 勇 治

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ブラザクリエイトの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ブラザクリエイト及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。